

- ①CASEに対応するモジュール開発動向
OEMのCASE関連の人員再配置、開発費増、世界的な規制強化への対応でモジュール化/システム化提案が必須事項に
- ②CASEの進展を見据えた再編・提携動向
CASE分野の進化スピードに対応するため選択と集中を軸に事業再編と提携に動く自動車部品メーカー
◇技術や人員の獲得に向けたM&A、意思決定の迅速化や事業運営の効率化に向けた事業再編が活発化
◇知見の獲得やコスト低減、時間短縮を目的に、技術・事業の共同開発が活発化
- ③CASE関連の受注とそれに関連した生産/開発体制の整備動向
CASE関連の受注ではバッテリー、駆動ユニットなど電動車関連が目立つ、中国や欧州での電動車関連の設備投資が活発化
◇バッテリーでは中国・韓国系へ受注が集中、駆動ユニットではメガサプライヤーと駆動部品メーカー間の競争が強まる
◇LiBの供給体制強化へ中国と欧州等で生産能力増強投資が活発化、開発体制では自動運転関連の投資が拡大

第1章 世界自動車部品メーカーの経営動向
 ◇OEM自動車部品市場は新型肺炎が追い打ちをかけ、2020年までは停滞の見通し
 ◇売上高ランキング: 上位メーカーは軒並み増収
 ◇地域別売上高: 欧州系/北米系/日系/韓国系全てで、メーカーごとに傾向が分かれる
 ◇営業利益率: 2018年度の主要企業の平均値は6.7%
 ◇R&D比率: 主要メーカーの平均値は5.0%

第2章 総合システムサプライヤー
 Bosch Continental Magna International Marelli Schaeffler Valeo ZF 現代Mobis
 LGグループ

第3章 エンジン・エンジン部品メーカー
 ▼エンジン Cummins 潍柴動力 中国重汽濟南動力 Graves Cotton 広西玉柴機器集団 全柴動力 雲内動力
 ▼エンジン部品 CIE Automotive Delphi Technologies Eaton Corporation ErlingKlinger Hirschvogel Automotive Group Kautex Textron
 MAHLE Rheinmetall Automotive TI Fluid Systems SEG Automotive Mahindra CIE Automotive
 Rico Auto Industries 渤海汽車系統 天潤曲軸 威孚高科 Cimos Dayco Sogefi
 Teksid AAPICO Hitech Alicon Castalloy Amtek Auto UCAL Fuel Systems 中原内配
 ▼吸排気部品 BorgWarner Eberspächer Garrett Motion MANN+HUMMEL Tenneco Bosal International Boysen
 Johnson Matthey Katcon Umicore 喜星触媒

第4章 駆動・伝動部品メーカー
 ▼駆動部品 American Axle & Manufacturing Grupo Kuo Punch Powertrain 現代Transys Bharat Forge 陝西法士特汽車伝動集団
 浙江万里揚 Hema Endustri Miba Bharat Gears 青山工業 中馬伝動
 ▼伝動部品 Dana GKN Linamar Meritor 現代WIA 現代WIA 青特集団
 陝西漢德車橋 SKF Timken Hi-Tech Gears Nelcast 洛陽LYC軸承 曙光股份

第5章 制動部品メーカー
 Brembo Knorr-Bremse 萬都 Haldex TMD Friction 京西重工 瑞立集団

第6章 懸架・操縦部品メーカー
 ▼懸架部品 Arconic Iochpe-Maxion Martinrea International Mubea Rassini Superior Industries International
 Jamna Auto Industries 一汽富維 万豐奧威 中信載卡 Borbet APM Automotive Sapura Industrial
 ▼操縦部品 Nexteer Automotive Rane Group 湖北恒隆企業集団

第7章 タイヤメーカー
 Cooper Tire & Rubber Goodyear Tire & Rubber Michelin Pirelli Hankook Tire & Technology Group Apollo Tyres MRF 華誼集団
 錦湖タイヤ CEAT GiTi Tire Group JK Tyre & Industries 風神股份 貴州輪胎 玲瓏集團 賽輪集團

第8章 電装・照明/電子・制御部品メーカー
 ▼電装・照明部品 Ficoso Hella Leoni Leopold Kostal Oslam 裕羅 Lumax Industries
 Motherson-Sumi Systems Arteb Kromberg & Schubert 大億交通工業製造 Fiem Industries
 ▼電子・制御 Aptiv Gentex Harman International Industries HERE Technologies Infineon Technologies Intel
 Mobileye NVIDIA NXP Semiconductors On Semiconductor Sensata Technologies STMicroelectronics TE Connectivity
 TomTom Veoneer Visteon Xilinx 現代Kefico Samsung SDI
 Johnson Electric NK Minda Group Pricol 北京國能電池 比克電池 大洋電機
 德賽集團 宇能科技 國軒高科 惠州華陽 航盛電子 均勝電子 科力遠
 駱駝集團 寧德時代新能源科技(CATL) 四川成飛集成科技 Clarios Huf Hülsbeck & Fürst IEE
 Stoneridge TT Electronics Amara Raja Batteries Exide Industries Flex 啓迪國際 天津力神電池
 中國動力 榮盛盟固利新能源科技

第9章 空調・安全装備部品メーカー
 ▼空調 Hanon Systems 三花控股集團 Parker Hannifin 双權控股
 ▼安全 Autoliv Joyson Safety Systems

第10章 シート・内装部品メーカー
 ▼シート Adient Faurecia Lear Bridgewater Interiors Camaco-Amvian Woodbridge Harita Seating Systems
 ▼内装部品 Dräxlmaier Grammer Grupo Antolin International Automotive Components NYX 華翔集團 延鋒汽車內飾系統
 AD Plastik Boryszew Feltex Automotive Kongsberg Automotive UGN 瑞延(韓一)理化

第11章 外装部品・車体機構部品メーカー
 ▼外装部品 Benteler Gestamp Inteva Products Plastic Omnium thyssenkrupp Tower International Inalfa Roof Systems
 Lacks Enterprises 江南模塑科技 凌雲工業 星宇Hitech Kiekert
 ▼車体・車体機構部品 Brose Constellium Cooper Standard Holdings Edscha Flex-N-Gate JBM Auto
 Kirchhoff Automotive Röchling Stabilus AGS Automotive Systems Dura Automotive Systems GF Casting Solutions
 敏實集團 Acument Global Technologies ADAC Automotive Shape Corporation Shiloh Industries Witte Automotive
 Henniges Automotive Miniature Precision Components Shiloh Industries Witte Automotive
 平和精工(PHA) Hwashin(和信) Delloyd Ventures Ingress Corporation Suparajit Engineering Thai Rung Union Car Thai Summit Group
 上海賽科利汽車模具技術應用 天津汽車模具

第12章 車体材料メーカー
 ArcelorMittal Autoneum BASF Celanese Covestro DowDuPont Evonik Industries Freudenberg
 Lanxess Novelis SABIC Innovative Plastics Saint-Gobain Solvay United States Steel 現代製鉄
 POSCO Tata Steel 宝山鋼鉄 信義玻璃 Eastman Chemical Guardian Industries PPG Industries
 Norsk Hydro Trelleborg voestalpine 東陽美業 建新趙氏集團

第13章 設計・設備・生産システム
 ABB AVL List Bertrandt EDAG FEV IAV KPIT Ricardo
 Akka Group Alten Group Altran Applus+ IDIADA ASAP Group Ateste Comau ESG Group
 ETAS Expleo Ferchau Formel D Illinois Tool Works in-tech Italdesign Giugiaro Kistler
 MVI Automotive Pininfarina RLE International Semcon

第14章 新興国系総合システムサプライヤー
 Anand Group Ashok Minda Group Astra Otoparts Indomobil Sukses Internasional Siam Motors Group Tata Autocomp Systems TVS Group
 北京海納川 東風汽車零部件 富奥股份 華城汽車系統 万向集團 一汽富晟

世界自動車部品産業年鑑

～CASE時代のモジュール化領域拡大に対応し提携を加速させる部品産業～

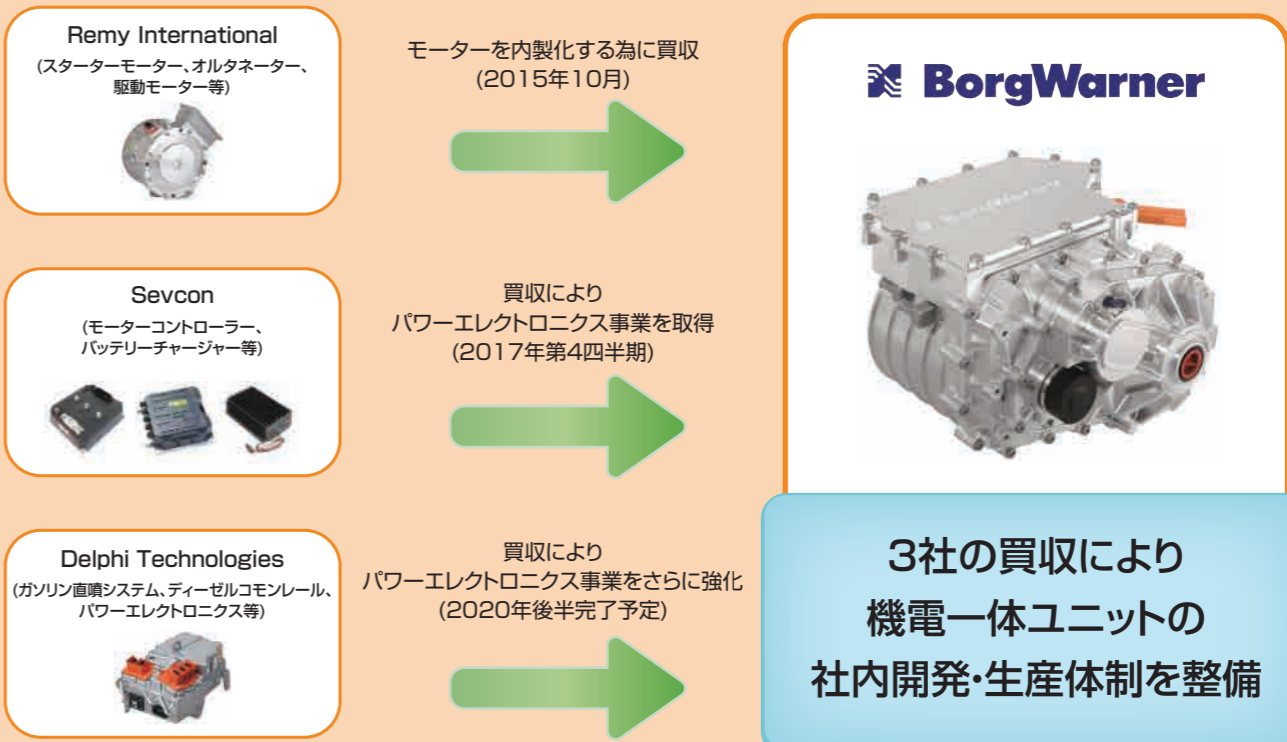
■ 発刊: 2020年3月25日 ■ 体裁: A4判、423頁 ■ 価格: 150,000円+税 国内送料込

- ◇モジュール化を中心にCASE関連の事業再編・提携の最新動向を特集!!
- ◇電動車を中心にCASE関連の受注/設備投資の最新動向を解説!!
- ◇技術コンサル会社を中心に掲載社を拡充、全321社のレポートを収録!!

世界の自動車業界はCASEのうねりへの迅速な対応が求められており、関連する研究開発と設備投資の費用の手当てをするため、効率的な事業運営が課題の1つとなっています。一方で世界自動車市場は2018年に中国での需要縮小の影響を受けて、9,600万台レベルで頭打ちとなり、2019年も中国市場の冷え込みの影響等で世界市場は前年実績を下回することは確実です。さらに中国では2020年2月に新型肺炎の感染拡大の影響が自動車市場に出始めており、世界自動車市場は3年連続で縮小する可能性が高まっています。CASE関連の費用増に加えて世界自動車市場の縮小により、自動車部品メーカーは収益性を維持することが困難になっています。その中で人員削減や非中核事業の見直しを進めることは重要ですが、それに加えて製品開発や設備投資の早期回収が収益性向上に重要で、その手段としてモジュール化とシステム化が有効と考えられます。モジュール化とシステム化は付加価値を向上させるほか、モジュールの形で複数の顧客向けに製品の共通化を図ることで量産効果も期待できます。またCASEへの対応を念頭に開発コストと工数の削減を目指す完成車メーカーは、モジュール化とシステム化を求めています。

「世界自動車部品産業年鑑2020」では、主要海外サプライヤー321社の事業戦略を中心に、業績などの基礎情報とCASE関連の取り組みを合わせて、各社の最新動向を報告いたします。特集では①CASEに対応するモジュールの開発動向に加えて、②CASEの進展を見据えた再編・提携動向、③CASE関連の受注とそれに関連した生産/開発体制の整備動向を解説いたしました。当案内をご高覧頂き、関係部署とも相談の上、ご採用賜りますようお願い申し上げます。

CASEに対応するM&Aの一例(BorgWarner)



CASEに対応したモジュール化領域の拡大の取り組みを特集で報告!!

開発の効率化でニーズが高まる技術コンサルティング会社を追加して掲載!!

CASE に対応するモジュール開発動向

【世界主要部品メーカー、最近の機電一体化の取り組みの比較】(つづき)

Table with 6 columns: メーカー, 戦略方針, 生産体制, 機電一体ユニットの特長, 搭載モデル, 搭載開始時期. Rows include Schaeffler, Valeo, GKN.

第13章 KPIT



KPIT

【本 社】Plot Number-17, Rajiv Gandhi Infotech Park, MIDC-SEZ, Phase-III, Hinjawadi, Pune - 411057

【設 立】1990年
【売 上 高】2億7,080万ドル(2019年3月期、連結)
【比 率】自動車関連売上比率 100%

【取 引 先】BMW、FCA、ホンダ、VW、Continental、Eaton、日立オートモティブシステムズ、パナソニック等
【事業拠点】インド9、米国3、ブラジル1、ドイツ4、英国1、イタリア1、スウェーデン1、オランダ1、中国1、日本1、韓国1、タイ1、シンガポール1

ソフトウェアコンサル大手、BMWやFCAなどのソフト開発をサポート

KPIT Technologies(KPIT)はインド Pune に本拠地を構える自動車向け組み込みソフトウェア開発及び開発サポートを手がける技術コンサルティング企業である。

KPIT はCASE 分野向けの組み込みソフトの開発とコンサルティングに経営資源を集中する方針を示しており、それ以外の非中核事業の整理を進めている。

【事業戦略】

▽中期業績目標
・中期的に売上高5億ドルの達成を目指す。
・EBITDA マージンで16~17%を目指す。
▽施策
・再利用可能なソフトウェアコンポーネントとサービスを活用し、競合よりも短納期でソリューションを提供する。

【最近の主な完成車メーカーへの技術提供】

▽BMW
・2018年10月、BMWグループが自動運転技術とそのソフトウェアプラットフォームのグローバル開発パートナーとして、KPIT と TTTech を選定したことを発表。
▽VW
・VW はAUTOSAR 向けのCAN 用の通信及びネットワーク管理スタックとして、KPIT のKSAR R4.2.1 を採用している。

【最近の主なサプライヤーとの技術協業】

▽パナソニック
・パナソニックにソフトウェア開発のパートナーとして認定されており、共同で研究開発を進めている。
▽Eaton
・2019年8月、Eaton がKPIT を電動車技術のソフトウェア開発パートナーに選定したことを発表した。

【NK Minda テレマティクス関連事業を売却】

・2019年1月、インドの自動車部品メーカーNK Minda Group の中核企業の Minda Industries と、テレマティクス関連事業を売却することで合意したと発表。

【自動車関連以外のIT事業を分離】

・2018年12月、インドのソフトウェア開発のBirla Groupのソフトウェア子会社のBirlasoftと経営統合し、その後自動車向けソフトウェアコンサルティング会社の新KPITと、KPITの企業向けIT事業部門とBirlasoftが統合された新Birlasoftに分離することを発表。

(以上、KPIT 広報資料・各種報道より作成)